

第 4 回国分寺市障害者施策推進協議会 (10 月 13 日) を踏まえた第 4 次国分寺市
障害者計画・第 4 次国分寺市障害者計画実施計画 (後期) (案) の変更箇所

【配布資料記載なし , 追記後 19 ページ】

第 2 章 障害のある人の現状と課題

2 今後の施策推進に当たっての課題

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大による影響を経て部分を追記

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大による影響を経て

令和元年度末から発生した新型コロナウイルス感染症の拡大は、実施計画 (前期) 期間においても人々の日常生活に深刻な影響を与えると共に、障害福祉の現場にも大きな影響を及ぼしました。現在、「新しい生活様式」の考え方にに基づき活動が再開された事業がある一方で、新型コロナウイルス感染症発生前に戻りきれない事業もあるという実情です。

世界規模の感染症が現実になりうるものであるということを経験した今だからこそ、経験を活かし、有事に備えた対策の推進が求められています。

【配布資料 23 ページ , 修正後 24 ページ】

第 3 章 計画の基本的な考え方

2 基本目標

基本目標 4共に生きる地域社会づくり部分の修正

基本目標 4共に生きる地域社会づくり

誰もが社会の一員としていきいきと生活できるよう、障害を理由にした差別や不利益を受けることがなく、社会参加しやすいまちづくりを目指します。そのために、すべての市民が互いに尊重し合い、ともに生活する地域共生社会の実現を目指し、障害や障害のある人についての正しい理解の促進、[また、社会における障害への認識の向上](#)を図ります。

また、誰もが気軽に外出し、地域で活動できるよう、ユニバーサルデザインの考え方を活かしたまちづくりを進めるとともに、防犯・防災体制についても充実を図り、地域住民と連携しながら、安心して暮らせるまちづくりに努めます。